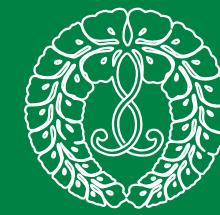




55



やくよけ祖師 堀之内 妙法寺

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 3-48-8

Tel: 03 - 3313 - 6241

Fax: 03 - 3313 - 5007

<http://www.yakuyoke.or.jp>

立
身のうき雲もほれぬ
立ち渡る
たゞぬ御法の鷺の山風

宗歌

日蓮聖人御詠

この歌は弘田龍太郎氏が作曲。現在、日蓮宗の宗歌となっています。

宗
歌

しゅう

か

日蓮聖人最晩年の弘安五年に詠まれた歌です。

「生涯を振り返ると、ほんとうに様々なことがあった。命を失わんとしたこともしばしばであった。しかし、この身延のお山は、釈尊が法華経を説かれた靈鷲山と同じ。木々を渡る風も、川の流れも皆法華経の教え。今こうして身延の山で弟子、信徒に囲まれ、法華経に生かされる日々を送っている私の心は、実に安穏で豊かである。身も心も晴れ渡つてすがすがしい。」との思いがこの歌に込められています。

表紙 お題目宝塔



平成14年10月12日に立教開宗750年慶讃記念事業として妙法寺東交差点角に建立されました。高さ4m50cm、第35世駒野日法上人揮毫による一遍首題が刻まれた宝塔は、妙法寺参道入り口のシンボルとして参詣者をあたたかく迎えています。

春と秋に宝塔前で交通安全祈願祭が営まれる他、妙法寺写経会参加者の宝塔への納経式が毎年1回執り行われています。

山主隨想

山田日潮



私が小学生の時の出来事です 夏休み明けの教室に同級生の女子がお祖母さんに教わり作られた手毬が展示してありましたがある白色糸が綻び壊れていました 誰もが自分が壊したとは思つておりません すると先生が もしそうならば 約束を守らず皆が手にとつて触つてしまつた だから自然に糸が傷みいつしか切れていたのではないかと諭されました めずらしくきれいな手毬でしたので手にとり遊んでしまつたので 誰かが壊したのだろうと思つていた子供の私には正に目から鱗が落ちる思いでした

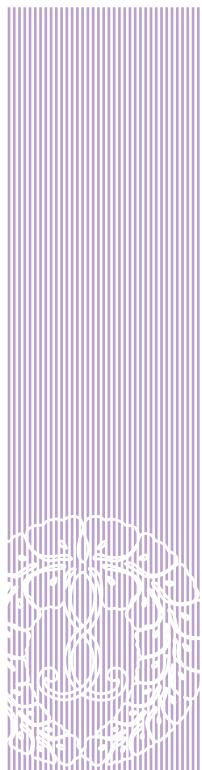
私達は注意をはらい 或いはすぐに気付く事が出来れば良いのですが知らぬうちに何気なく行つた言動で 人を傷つけていたり不愉快にしたり良からぬ事態にまで と言う事が往々にして有るものです

未だ収束の兆しが見えないコロナ禍ですが 誰も人にうつしてやろうと言う

人はいはずです 感染すれば重症化もあると言う危機感があれば注意もするでしょが 陽性であつても症状が無ければ気付かず 人に及ぼす配慮は払う事は無いでしょ 又 地球温暖化による異常気象が地球のあらゆる国で大きな災害を齎^{もたら}しています 気温が五十度近くまで達したと言う報道に人の体は対応出来るかと心配になりました 又此の所 日本をはじめ 世界の各所での集中豪雨による被害の映像を目にしてしまった 火災は一瞬にして総てを失うと思つてましたが 大雨による土砂災害も瞬く間に家を埋めつくし壊し 又 生活空間を水・土があつという間に押し流してしまい跡形も無く消し去つてしまふ 人の命をも奪つてしまます 命を取りとめ 家が残つた人も この先どのように生きようかと 住まいの整理をしようと思うが 使えそうな物は無く あとは捨てるだけだと途方に暮れる姿が何とも哀しげな映像を目にしました 人は自然界の力を凌いで発展をして来ましたが どうやらやはり自然の力にはかなわない この人の生活の妨げ・被害を齎す力を作つてしまつているのも人類と言う事になります 人類は化石燃料のエネルギーと化学製品により生活の向上を得て来ました 金属と思つていたら実は

プラスチックだつたと言う事があります　あらゆる所でこの製品が使われていますが　実はこのプラスチックも地球の環境破壊の原因になつてはいるとか　私達は気付かないと言う事で　自然・生活環境に於いて悪影響を及ぼしてはいるとは誰もが自覚などしていなと思います

”釈尊の因行果徳の一法は妙法蓮華經の五字に具足す　我等此の五字を受持すれば自然に彼の因果の功徳を譲り与えたもう“（觀心本尊抄）又　”心に妙法をよび奉れば我身の仏性もよばれて必ず顯れ給う“（法華初心成仏鈔）と　私達宗徒がよく目にする御言葉がございますが　私達は真摯な氣持て此の御題目を唱え　己心の仏様の世界・お姿を意識して生きて行く人が一人でも多くなるならば　あらゆる所・事柄にも目が届き　知らず知らず微力ながら地球や人類の生活を守る手立てになろうかと思ひます　人々の配慮・気配りにより人災と言うものは必ず回避する事が出来るものと考えます



日蓮聖人の生涯

【第十三回】

遠藤教温

と大いに喜んで日蓮聖人を迎えた。

しかし、波木井公の館に入られた後、「ひどい飢餓で米一合すら手に入らない。飢え死にしそうだ。食料の入手もままならないので、同行してきた弟子たちも帰すことにしてよう。」

と、千葉の信徒富木常忍^{ときじょうにん}に手紙を書いているように、聖人入山当初の身延の地はたいへん厳しい環境でした。

波木井郷の領主は、南部一族で日蓮聖人の信者である波木井^{はきい}（南部）実長^{さねなが}公です。波木井公は、「今生は私が命にかけてできる限りのことします。聖人どうか後生をお助け下さい。」

人になりて日本国に流浪すべき身」になると

漂泊の覚悟を決めた日蓮聖人は、身延でもただ一人、草の庵^{いおり}を結ぶつもりだつたようです。

苦難の生活を送りながらも、実長公の手厚い庇護と支援の下、互いの信頼も深まる日々を過ごされる中で、「吹く風も、ゆるぐ木草も、流れる水の音までも、この山には妙法の五字を唱えずということなし」と述べられるように、身延の山をたいへん気に入られた日蓮聖人は、その後、足掛け九年にわたつて身延に留まるこ

とになります。



信徒が各地から続々と草庵を訪れるようになりました。そのまま身延に留まつて聖人に仕える人々が増え、在地と身延を往復して布教活動に励む弟子や信徒も加わつて、身延山は日蓮聖人隠棲^{いんせい}の地というよりも教団の拠点として重要な役割を果たす所となつていきました。

日蓮聖人が身延に入られてから四年、弘安

元年（一二七八）の頃には四十人から六十人の弟子信徒が日蓮聖人と生活を共にし、翌年の多い時には百人を超えるまでになつたといわれます。弘安四年秋、十間四面の大堂が完成します。ここに日蓮教団の拠点が誕生したのです。大堂は日蓮聖人自身によって、「久遠寺^{くおんじ}」と名付けられました。

身延入山から三年、建治三年（一二七七）日蓮聖人五十六歳の年末、聖人の身を病が襲います。「はらのけ」（下痢）は年が明けても治らず、「死ぬることも疑いなきか」（『阿仏房御返事』）とさえ思われるほどになりました。医療に長けていた信徒の四条金吾が鎌倉から駆け付け、師の病状を診断し、投薬した結果、秋には恢復しますが、全快したわけではありません。

しかし、草木が茂り、日の光もささずに昼なお暗い、冬は雪が降り積もつて消えることも

身延山中の冬の厳しさ、長雨と湿氣、夏の蒸し

暑さの中で、日蓮聖人の体は次第に弱つていきました。

一方、日蓮聖人身延入山後わずか半年足らずで、予てから予言していた「他国侵逼」の難が、蒙古襲来によつて遂に現実となります。

◆蒙古襲来

文永十一年（一二七四）十月、九百隻の軍船と三万数千に上る蒙古軍は、大船団を組んで対馬、壱岐を襲い、博多に上陸、激しい戦闘が繰り広げられました。ところが、その夜、突風のために蒙古の軍船が被害に遭い退却したか、一夜明けた海上に軍船の姿は有りませんでした。これは「文永の役」と言われています。

日蓮聖人は自らの予言の的中をどのようにとらえたのでしょうか。

対馬、壱岐を攻め、博多湾から五島列島まで襲撃してきましたが、七月二十日の台風と思われる大風によって船団は壊滅の被害を受け、帰つていきました。「弘安の役」です。

再度にわたつた蒙古襲来が、共に自然の脅威によつて挫折したことから、異敵調伏の祈祷に効験があつたとされ、大風は「神風」であり、日本は「神國」だと人々は考えるようになりました。

しかし、日蓮聖人は「神風」とか「神國」などとは全く考えていませんでした。「秋風が吹くのは、いつものことだ。秋風によるわずかな水で敵船が破損したのを、大將軍を生け捕りにしたなどと申すのはおかしい。」と批判しています。異敵調伏の祈祷をしたこともありませんでした。

蒙古が必ず再び襲来すると考えていた日蓮聖人は、「日本の全ての人々が壱岐、対馬のようになるとと思うと涙も止まらない」（『上野殿御返事』）と述べ、日本国が今攻められるのも、つまるところは国を治めるものが、律宗や念佛宗、真言宗などによつて法華経に敵対しているからなのであると教えられています。

日本国の人々が地獄の苦しみを受け、国が滅びるであろうことは、實に悲痛の極みであるが、法華経によつて、命懸けで日本を救い、国の恩に報いていこう、との決意を日蓮聖人は新たにされたのでした。そして、「されば、わが弟子ら、法華経のごとく身命を惜しまず修行して、このたび仏法をこころみよ」と語られます。

蒙古が再び攻めてきたのは、弘安四年（一二八一）五月のことです。この時も蒙古の大軍は

日蓮聖人は、むしろ、蒙古が攻めてきたのは、諸天などが日本国が法華経を誇る邪惡な国だから、これを罰して反省させようとして、諸国の聖人を派遣して警鐘を鳴らしたものだ、と受け止めていました。蒙古によつて国が滅びるのは余りに悲しいことではあるが、それによつて国土から法華経を誇ることがなくなれば災い転じて福となり、日本は仏の国に変わることができるとも考えていました。

日蓮聖人にとって何よりも大事なことは、人々が嘆き苦しむこの現実社会を転換し、法華経の教えに基づく安穏な現世と、未來の成仏が実現される仏の国にすることであつたのです。

日蓮聖人の手紙（三十三）

東京立正短期大学学長
立正大学名誉教授

北川 前肇

「(端書) 日蓮臨終一分も疑い無し。頭を刎ねらるる時は、殊に喜悅有るべく候。大賊に值いて、大毒を宝珠に易うと思ふべき故。
(本文) 鶩目員数の如く給ひ候い了んぬ。御志申し遂げ難く候。
法門の事、先度、四条三郎左衛門尉殿に、書持せしむ。其の書能く能く御覽有るべし。粗経文を勘え見るに、日蓮が法華經の行者為る事、疑い無き故。但だ、今に天の加護を蒙らざるは、一には、諸天善神此の惡國を去る故。
二には、善神法味を味わざる故に、威光勢力無き故。三には、大惡鬼三類の心中に入り、梵天・帝釈も力及ばざる故等。一一証文、道理、追つて進せしむべく候。
但し、生涯本より思切り了ぬ。今に翻返すこと無く、其の上、又違恨無し。
諸の悪人は又善知識也。攝受・折伏の二義、仏說に任す。敢て私曲に非ず。
万事靈山淨土を期す。恐々謹言

土木殿

卯月十日

日蓮(花押)

訳

「(端書) 私(日蓮)が、流罪の地である佐渡国において、死を迎えることは少しの疑いもなく、たしかなことです。不法の人々によって、私の頸を切られるときには、格別に喜んでいただきたい。なぜなら、最上の法華經にお仕えすることで生命を失うことは、あたかもおおどろぼうから大毒薬が奪われ、かえつて尊い宝珠を得たようなものと思うべきではありませんか。

(本文) 私に届けてくださった金錢、お手紙に記されたとおり、ありがたく頂戴しました。その芳情に対する感謝の心は、筆に尽くせません。

さて、私の法華經信仰のあり方に対し、他者から種々に批判が寄せられていることは、越後の寺泊からの手紙(『寺泊御書』)に列示しました。それに対して、法華經の眞実性と末法救済の確実性、さらに私が「法華經の行者」であることを、詳細に記した長編の『開目抄』という著書を、先般、この地を訪問された四條金吾殿の使者に書き持たせました。どうか、『開目抄』を十分に味読してください。いまの私の身を法華經および一切經に照らし合わせてみますと、二度の流罪に処せられていることは、勧持品の二十行に説かれる「數數見擯出」の色説ですから「法華經の行者」であることは間違ひありません。ただし、この身に諸天善神のご加護がないのは、一には諸天善神がこの日本を去られたことによるためか。二には、善神が邪法の蔓延によって、法華經の法味を食されることがないため、その威光とお働きがないためか。三には、大きな力をもった鬼神が、三類の強敵の身に入ることで、梵天王や帝釈天王等の威光が發揮されないためか、等と考えられます。それらの一つ一つの文証と道理については、あらためて書いてお届けしましょう。しかししながら、私自身の生命は、すでに立教開宗の折に大恩教主釈尊にささげています。いま、迫害によつて、それをひるがえすことも、また法難に対する恨みなども存しません。私に迫害をおよぼす多くの悪人は、私をさとりへと導く智者です。摂受や折伏という仏法を広める方法は、自説ではなく、すべてみ仏の教えに基づくもので、私が曲解した法門ではありません。今後のすべてのことは、久遠のみ仏のまします永遠の靈山淨土でお会いすることで達成したいと思います。つっしんで申し述べました。

土木殿

四月十日

日蓮(花押)

(原漢文・文永九(一二七二)年四月十日・『富木殿御返事』・昭和定本六一九〇六二〇頁。
佐渡の一谷にて執筆・真蹟二紙・中山法華經寺蔵・重要文化財指定)

法縁



めぐり～その二十五～
ちえいざん しょうれんじ

日蓮宗の寺院は、全国に約五千ヶ寺あります。その中でも、特に縁の深い寺院のつなぎを「法縁」と呼んでいます。ここでは、堀之内妙法寺を中心とする「堀之内法縁」に属する寺院を紹介していきます。

智永山 性蓮寺

【国指定史跡 水子貝塚のある町】

當山のある埼玉県富士見市水子は、地名のごとく古来から水に恵まれた地域であり、昭和四十四年国指定の史跡で、縄文時代前期を代表する貝塚がある「水子貝塚公園」をはじめ、古墳時代の住居や貝塚等めずらしい遺跡が点在しているところです。

寺の周辺は、新河岸川・柳瀬川・富士見



住職 関根教沅
せきね きょうげん

◆水子貝塚公園

江川が流れしており、水が豊富なおかげで、未だに水田が数多くあります。地名の水子は古くは「水処・水古」と書かれ、境内のここかしこに

水子貝塚公園の写真

【性蓮寺の沿革】

性蓮寺にある上田周防守のお墓▼



清水が湧いています。江戸時代には、江戸と川越を結ぶ交通の要所と武藏野台地の畠で採れる野菜類を、舟を利用して運搬する集荷地として栄えた場所ですが、近年は都心に近いベッドタウンとして発展しております。

「新編武藏風土記稿」によりますと、智永

山性蓮寺は、室町時代後土御門

天皇の代、今から五百年以前、

明應年間（一四九三～一五〇〇）

智永院日性上人により開山され

たお寺で、北條家の旗下といわれ

る上田周防守難波田城主の菩提

寺もあります。天正年間、兵

火に遭遇し、本堂や建物を焼失。

上田周防守により再建されまし

▼日蓮聖人像



たが、再度戦火に遭い焼失してしまいました。

難波田家の没落により檀家も数軒だったため、仮本堂を建ててあつたところ、當山第十三世

三世遠厚院日誠上人（身延山第八十二世岡田日歸上人の弟子）に至ります。昭和八年より

四十三年の三十五年間在住。その間、堀之内妙法寺に勤める傍ら、本堂改修、山門改修等

寺門の整備に尽くし、昭和四十三年、勝浦市興津・本山妙覺寺第七十四世貫首として晋山。

現住職関根教沅（日修）は、昭和四十四年師父日誠上人の後を継承し、第二十四世住職に就任。以来、庫裡増築、客殿庫裡新築、山門改築、鬼子母神堂新築、稻荷堂新築、鐘

樓堂新築、境内地整備、宗祖像建立、水子觀音及び六地蔵尊造立、墓地拡張工事等をいたし、寺觀の整備をいたしました。

平成十四年、宗祖日蓮大聖人立教開宗七百五十年の慶事に当たり、百八十年以上経つた老朽化激しい旧本堂を解体。新本堂の建立を発願し、平成十五年十月に無事完成をし、現在に至ります。

【額装壁画制作】

當山本堂内には、日蓮聖人御降誕

八百年・住職就任五十年を記念し、

紺綬褒章受章者・日展審査員に就任

された経歴をもつ石原進先生制作の額



▲額装壁画

性蓮寺

【所在地】

〒354-0011 埼玉県富士見市水子 5082番地

電話：049-253-0965

FAX：049-253-0955

【交通】

●東武東上線「柳瀬川駅」又は
「みずほ台駅」より徒歩15分

●お車をご利用の場合は、

関越自動車道「所沢IC」から約10分

装壁画二面が檀信徒より寄贈されております。この壁画は、縦百十センチ・横三百六十センチで「宗祖日蓮大聖人に献華する天女図」と「御所車にのせて法華経をこの世界に示された、その喜びを笛・太鼓で迎える天女図」の大作です。是非お近くにお越しの際には、當山に立ち寄り、ご鑑賞ください。



▲平成15年に完成した新本堂

旧本堂



堀之内
節句問答箱
その20

「御札・御守り」

おふだおまも

から御札をお授けしています。法華經は、お釈迦さまが本懐をお説きになられたおしえであり、御題曰は法華經の肝心ですので、御札には、お釈迦さまの御心と、それぞれの御札に書かれたお祖師さまや諸天善神の御心が込められています。

御札とは、寺院や神社で授与する「守り札」のことです、ほかに「守護札」と呼ばれます。木や紙に各寺社の、神仏の名前が書かれており、仏壇や神棚に奉安したり、門口や柱に取り付けたりして、神仏のご加護を願うものです。御守りは御札を小さくしたもので、御守り袋に入れて、常に身に着けておきます。御札もお守りも通常、祈祷された後に授与され、願いを叶えて下さる福德増進や災いを除いて下さる守護の利益がみなわっています。

妙法寺では、法華經を読誦し御題曰をお唱えして

しようと、また、毎日報恩感謝のために読誦唱題して信心を捧げることが大切です。尚、御札の種類により、奉安する場所が違つ場合があります。

Q 古くなつた御札はどうすればいいの？

Q 御札をいただいたらどうすればいいの？

◆御開帳札◆ 祖師堂で御開帳をされた方にお授けします。祖師堂は「感應法闇」とも称され、祖師堂に入るだけで「やくよけのお祖師さま」と心が通じ合い、願いが叶えられる場所との意味があります。

御札や御守りは、それを授けていただきたい寺社にお返し下さい。御札には願主それぞれの願いが込められているだけでなく、仏さま・諸天善神・お祖師さまにお祈りを捧げたお經の功德がみわたっていますので、最後まで大切に扱つて下さい。各寺社では、年末に「お焚き上げ」といって、御札・御守りの魂を抜く供養がなされますので、お護りいただいたことへの感謝を捧げるためのお礼参りも兼ねて、なるべくいたいたいた寺社に持参する方が良いでしょう。



◆正月三箇日御開帳札◆

▲御志納金は、両方共右側より10000円・5000円・3000円

◆御開帳札◆

さらに御開帳をして、「やくよけのお祖師さま」の御尊顔を直に拝しながら至心にお祈りすれば、やくよけをはじめあらゆる災難除けに絶大な利益があります。御開帳は隨時受け付けております。通常の御開帳札の他に、正月三箇日だけお授けしている御開帳札があります。

いちばんかいちよっふだ

壹番開帳札



◆ **壹番開帳札** ◆ 古来より伝わる妙法寺のもので、一年に一度しか戴くことがあります。

迎えた元旦の時に行われる最初の御開帳で、新年を安泰・やくよけ・安全・開運吉祥を祈願するものです。

前年の十一月(十二日)まで受け付けしております。

じょうきょうせしゅふだ

常経施主札



◆ **常経施主札** ◆ 「常経施主」に授与される特別な御札です。祖師堂

御宝前では、必ず法華經を読誦する「常經」が行われ、やくよけのお祖師さまに報恩の誠を捧げるとともに、やはり利益をいただけるようにお祈りしております。

「常經」の贊助者である「常經施主」となられた方々

にご利益があります。



日蓮聖人秘妙御張守り

◆ **日蓮聖人秘妙御張守り** ◆ 日蓮大聖人伊豆御配流の折、彼の地の地頭伊東朝高の病気を快癒させたのが始まりといわれる、妙法寺だけに伝わる御守りです。この御張守りを願主の枕元の柱に貼り、七日毎に貼る位置を上げていくと、二十一日には病気が治ると伝えられます。ただ、現在は床柱が無いお宅が多いので、その場合、枕の下に入れてお休みいただいております。

二十一箇の貸し出しの御守りになります。貸し出し期間が過ぎても必ず返却をお願い致します。

ほしまつりふだ

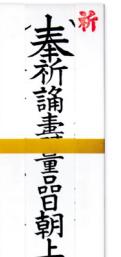
星祭札

◆ **星祭札** ◆ 古来より日本に伝わる易占学「九星氣学」においては、人にはそれぞれその生まれた年に応じて九つの運命星があり、その年の運気

の芳名は、一年間祖師堂にご奉安し、年中安泰・家内安全を当山住職が毎日の朝勤で祈念させていただきます。常経施主は年間祈願になります。随時受け付けしておりますが、一月一日よりの祈願を希望される場合、前年の十一月(十二日)までにお申込み下さい。

にっちょうしようんふだ

日朝上人札



◆ **日朝上人札** ◆ 数々の学業を修められた身延山第十一世

眼を患われ、回復

後眼病の人々を救わんと大願を立てられたことから、「学業成就の日朝さま」「眼病守護の日朝さま」と崇められています。この日朝上人のお札は眼病平

癒・学業増進・試験合格の利益があります。

にじゅうさんやだいがつてんのうふだ

二十三夜大月天王札

◆ **二十三夜大月天王札** ◆ 二十三夜

さま(月天子)の守護があり、商売繁盛・良縁成就

た身延山第十一世

眼を患われ、回復

後眼病の人々を救わんと大願を立てられたことから、「学業成就の日朝さま」「眼病守護の日朝さま」と崇められています。この日朝上人のお札は眼病平

癒・学業増進・試験合格の利益があります。

にじゅうさんやだいがつてんのうふだ



が変わつてくると考えられています。

星回りの悪い年は悪事災難を免れる

よう、善い年はより一層善くなるよ

う、それぞれの運命星に応じて授与

する御札を総称して星祭札といい、詳しく述べる御札を総称して星祭札といい、

詳しくは、星祭札の他に除八方札・除六三札・除方守・除鬼門札があります。

以上、妙法寺の代表的な御

札・御守りをご紹介いたしました。

この他にも願い事に応じた各種御札御守りがございますので、祖師堂または外守り場にお問い合わせ下さい。また、各種御札・御守りは郵送にてお授けする)と

が出来るほか、御開帳はリモート祈願をご利用いただけます。詳しくは寺務所・祖

師堂にお問い合わせくださいか、ホームページページをご覧下さい。

<http://www.yakuyoke.or.jp>

かわら版

当山の行事やご祈願などをご案内するコーナーです。

社会情勢により行事内容が変更になる場合があります

第七百四十遠忌

○宗祖 報恩お会式

本年は日蓮大聖人第七百四十遠忌に当たります。当山では、次の日程にて報恩お会式を奉行いたします。命を懸けて法華経の教えを弘め、私たちの幸せと世界の平和を願われた日蓮大聖人のご遺徳を偲び、その深いお志を受け継いで行こうという誓いを新たにするとともに報恩感謝の誠を捧げましょう。

十月十二日(火)

お題目道場：十一時・十三時（祖師堂）

■十月十三日(水) 宗祖報恩お会式
報恩法要：十時・十三時（祖師堂）
報恩大法要：十九時（祖師堂）

※いずれの法要もどなたでもご参列頂けます。



昨年の
お会式の
様子
▼



○一十三夜尊大祭

二十三日の夜、月待ちをすれば願いが叶うとされた「二十三夜信仰」。財運・縁結びを「十三夜様にお願いする大祭です。

■
〔日時〕十月二十三日(土)：十三時
〔場所〕祖師堂西内陣



○特別祈願（商売繁昌・良縁成就・他）
○祈願料 五千円也

△日蓮大聖人報恩感謝の塔婆

私たちに法華經・御題目との御縁を結んで下さった日蓮大聖人にご報恩の誠を捧げる報恩感謝塔婆のお申込を承ります。

○報恩感謝塔婆 一本 三千円也

(申込〆切 十月十一日)

自我偈讀誦会・万灯練り供養の中止

本年は、新型コロナウイルス感染症拡大の為、自我偈讀誦会・万灯練り供養は中止とさせて頂きます。例年、自我偈讀誦会をお申込頂いている檀信徒の皆様、また万灯練り供養を楽しみにしてお待ち頂いている皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

○七五三詣

「やくよけのお祖師さま」の前で、お子様・お孫様の健やかな成長をご祈念する「七五三のお祝い」の御祈願をお受けしております。

◆記念写真も進呈します。
(お守り・お札・千歳飴・他)

○祈願料 五千円也

○お正月壹番開帳

妙法寺独自のお札です。新年最初のお札として元旦午前0時に除厄安全・家内安全等をご祈願して授与いたします。

○ 祝願料 五千円也



◎ 常經施主

一年を通して、毎朝除厄安全・家内安全等を^{やくよけ}祈願するものです。お札を授与いたします。

○ 祈願料 壱萬円也



お祖師様と私

フォトスタジオタチカワ
立川 賢一さん

生まれた時から妙

寺様にはお世話を

檀家ですのでお宮詣り

から七五三など私の人生の節目にはじご参拝させ
ていただきました。



◎ 節分會

年の節目
である立春

経を頂戴し

豆まきを行い、厄を除き、幸多き一年を願う行事です。

日時 二月三日(木)

十五
卷之二

○年男年女参加費 参萬円也

ヒカルの魔女

妙法寺
おもてなし
電話 03-33313-6241
お問い合わせは
お気軽に寺務所まで。



私は妙法寺門前通り商店会の写真館「フォトスタジオタチカワ」の2代目店主です。先代の父と共に60年近く堀ノ内で写真館を営んでおります。スタジオでの肖像写真撮影が主ですが大晦日、初詣、節分、千部会、御会式と一年を通じて四季折々の妙法寺様での撮影もさせていただいております。

私の撮影キャリアの中で妙法寺様でのお仕事がスタート地点でした。まだ未熟な私に仕事のノウハウを教えていただいたのは当時の僧侶の方々でした。打ち合わせ、納品、たまに厳しいご指導もいただき、成長させていただきました。

発展の為、私はこれからも近隣の方々の肖像写真や記念写真を撮り続け、そして後世に残したいと思います。お客様に満足して、喜んでいただけるように今後も精進していきたいと思います。

東京立正短期大学では、「生命の尊重・慈悲・平和」の教育理念のもと、その理念を実践できる存在として、複雑化する現代社会においても自らの視座を有する人材の育成を目指しています。現代コミュニケーション学科として幼児教育専攻・現代コミュニケーション専攻の二つの専攻を設置し、教育理念の実践に努めておりますが、そのなかで学生たちは日々、自己と他者の生命ともに尊重できるような在り方を学んでいるように思います。

学生たちにとっての学びの場は、本学の敷地内だけにはとどまりません。杉並区堀ノ内を中心とした地域もまた貴重な学びの場となっております。特に、妙法寺で開催されるお祭りには、本学からも学生たちがボランティアとして関わらせていただいております。普段は机上で学んでいる学生たちにとって、実際に地域の方や子どもたちと触れ合いながら学びを実践できる場というのは大変貴重なものです。講義や教科書で知識としては習得していくても実際に人間を相手にすると思うようにはいかない場面もありますが、こうした実践を通して現代社会を生き抜いていくための力を身に着けているように思います。地域の方や子どもたちと関わる学生の活き活きとした様子、問題が起こっても他者と協働しながら工夫して乗り越えようとする様子から、こうした学びの場がある環境を僕倆に思います。

昨年より続く未曾有の新型感染症によって、ますます社会全体のオンライン化が加速する今日です。しかし、こうした情勢下だからこそ人と人との繋がりや自他ともに尊重しあうことの大切さを痛感しております。今後も、あたたかく受け入れてくださる堀之内地域との関わりを通して、学生たには、かけがえのない一人ひとりの生活の積み重ねが地域というものを形作っていること、そして自分自身もまたそのような地域社会の大切な一員だということを学び、自他共の生命を大切にできる存在になってほしいと願っております。





東京立正短期大学

Tokyo Rissho Junior College

東京立正短期大学
現代コミュニケーション学科
(共学)

現代コミュニケーション専攻
幼児教育専攻

- ビジネスコース
- 心理コース
- 観光コース

Open Campus

オープンキャンパス 予約制

スケジュール
(2021~2022)

9月 5日(日)
9月18日(土)
11月 7日(日)
11月27日(土)
12月11日(土)
2月26日(土)
3月26日(土)

全日10:30～の開催予定ですが
変更になる場合がありますので
ホームページでご確認下さい。

ミニオープンキャンパス りったんカフェ♥や
個別相談会もありますので
各詳細や最新情報はホームページへ!!

りったん
カフェ

〒166-0013 杉並区堀ノ内 2-41-15
TEL 03-3313-5101 FAX 03-5377-7641
URL <http://www.tokyorissho.ac.jp/>





完全中高一貫プログラムのグランドデザインで
国際社会での活躍を目指した
真のグローバルリーダーを育てています。

まずは、学校説明会・ホームページへ。

2022年度入学者対象 学校説明会日程

中学校	高等学校
2021年 9月11日(土) — 10:00	2021年 9月26日(日) — 10:00☆
10月 9日(土) — 10:00	10月16日(土) — 14:30
10月23日(土) — 14:30	10月30日(土) — 14:30
11月28日(日) — 10:00	11月 6日(土) — 14:30
12月11日(土) — 14:30	11月20日(土) — 14:30
2022年 1月 9日(日) — 9:00	11月27日(土) — 14:30
1月15日(土) — 14:30	12月 4日(土) — 14:00

※☆は学園祭を予定しています。
いずれも、会場は本校です。上記日程は変更になる場合がありますので、
必ず最新の日程をホームページで事前確認の上、お越し下さい。

学校法人 堀之内学園

東京立正 中学校 高等学校

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 2-41-15
TEL 03-3312-1111 FAX 03-3312-1620
URL <http://www.tokyorissho.ed.jp/>



教 雄 記

普段の生活がいかに大切であつたかを
思い知る毎日ではあります、この難局
も試練とし、佛天のご加護を願うもので
あります。

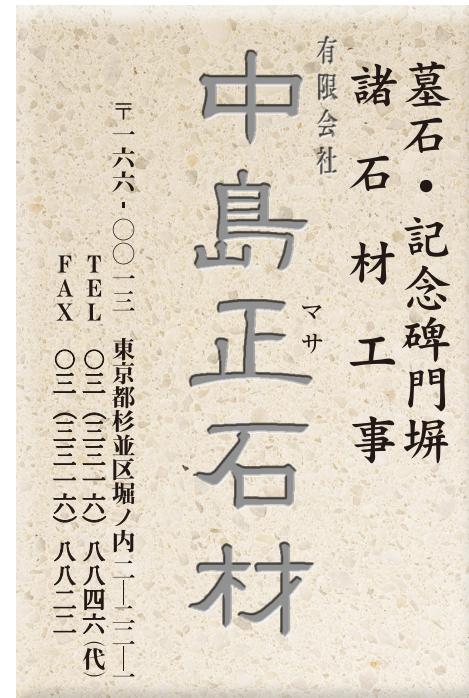
教 誌 編 集 委 員	
委 員 長 員	小 田 教 雄
委 員	嶋 田 教 豊
	吉 田 教 理
	山 田 教 深
	山 形 教 亨
	宇 都 宮 教 倪
	新 井 教 慧
	望 月 隆 行
	望 月 教 善
	石 川 教 義

はりのうら

第55号・令和3年 8月発行

毎年私共のお寺では、お施餓鬼会に使用する「ミソハギ」と「蓮」を育てています。本年は空梅雨と真夏日の連続で花の咲く時期が少しずれてしましましたが、二年続けてお檀家不在の法要に寺族一丸となつて飾ることが出来ました。

編 集 後 記



ご 葬 儀 を ご 想 儀 へ

ムラカミの安心と信頼が皆様の想いをサポートいたします。

ご家族葬から社葬・団体葬までご対応。
1級葬祭ディレクターが責任を持って担当いたします。

365日24時間自社所有の寝台車による速やかなお迎え。
靈安室も完備しております。

葬祭業安心度調査 AAA評価 JECIA格付 ★★★★★認定

村上葬祭
株式会社 ムラカミ

TEL 0166-0051 東京都世田谷区宮坂3-28-2
<http://www.murakami-sousai.co.jp>
ご葬儀・ご法要をはじめ、ご不明な点について、
無料でご相談にお応えいたします。
24時間・365日ご対応 ☎ 0120-711-556

仏壇・仏具・位牌

みす平は創業300有余年の神・仏具の専門店
オーダーメイドでの仏壇製作から、古くなった仏壇・仏像・お位牌などの修理、修復も承ります。

良品 安値!

みす平は10年後、20年後の信用を大切にします。

神・仏具のみす平

株式会社 みす平竈天堂

TEL 042-334-9981 FAX 042-334-9982
〒183-0045 東京都府中市美好町1丁目30番地の13
<http://www.misuhei.co.jp>

御食事司

和菓子 手打ち蕎麦 火・水曜

清 水 屋

TEL 0166-0013 杉並区堀ノ内 3-48-3 ☎ 03-3311-0725

【営業時間】和菓子 ◇10時～17時
手打ち蕎麦 ◇11時～18時（以後はご予約のみ）
火曜日：11時～15時
※いずれも蕎麦がなくなり次第終了

【定休日】和菓子 ◇火・水曜 [※三のつく日は共に営業]
手打ち蕎麦 ◇水曜 [致します。（振替休日有）]